



第3章 本プランがめざす「すみだ」の将来像

第3章 本プランがめざす「すみだ」の将来像

3-1 本プランがめざす「すみだ」の将来像

みんなで創る環境にやさしいまち「すみだ」

私たちの暮らす墨田区は、悠久の流れをたたえた隅田川と先人の力によって生まれた荒川の二つの河川に抱かれた豊かな水辺の地にあります。この地の自然をはじめとして、江戸下町文化を育ててきた環境を守り、より豊かにして未来の子どもたちへ引き継ぐことは、墨田区に住み、働き、学び、集う私たちの願いであり、今を生きる私たちの責務です。

本プランがめざす「すみだ」の将来像の実現には、行政の力だけではなく、より一層の区民・事業者等との協働と連携が必要です。

区民・事業者等との協働と連携によって、よりよい環境を守り育てていく、という「責務」をあらためて認識することが「環境の共創」の土台となります。そのうえで、「すみだの将来像」を共有することによってはじめて、環境にやさしいまち「すみだ」の実現に近づくことができます。



3-2 10年後のすみだのイメージと基本目標

本区は、隅田川や荒川をはじめ豊かな水辺に恵まれ、かつては江戸のまちの中で最も栄えた文化や歴史が薫るまちとしての魅力を持っています。さらに平成24年には東京スカイツリー®が完成し、観光都市としての魅力も高まっています。

このようなすみだの魅力とすみだを抱える環境への課題を踏まえて、本プランがめざす10年後の5つのイメージを描きました。

これらのイメージは、今後の10年間の環境行政の取組の目標となるものです。そのため、この10年後のイメージを本プランがめざす「すみだ」の将来像を実現するための基本目標として位置づけ、区民・事業者・区の協働による取り組みの指針とします。

図3-1 本プランがめざす「すみだ」の将来像に基づく10年後の5つのイメージ

● 温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまち

家庭や事業所における省エネルギー行動が「日常的な習慣」として定着しており、省資源・省エネルギー型のライフスタイル、ビジネススタイルが営まれています。

省エネルギーへの取組に加えて、太陽光発電をはじめとする創エネルギーや蓄エネルギー設備の導入も進み、無駄なエネルギーを消費しない構造の住宅やビルが増え、エネルギーマネジメントの取組が普及しています。

水素エネルギーの活用が本格的に始動し、家庭や事業所における燃料電池、燃料電池自動車が増えつつあるなど、「賢いエネルギーの使い方」が浸透しているスマートエネルギーのまちになっています。

● 身近な緑と水辺に親しみ、生きものとふれあえるまち

公園や街路樹の緑化、水辺など公共の場の緑化に加え、住宅やビルの壁面緑化、屋上緑化、緑のカーテンなどの多様な地域の緑化が着実に進んでいます。合わせて、公共の場の緑を適切に整備したことで、区民が緑を身近に感じられる『緑感』が高まっています。

大横川や北十間川をはじめとして親水空間の整備が進み、隅田川の観光船からは緑と水辺の風景を楽しめるようになっています。

緑や水辺、ビオトープの整備が進んだことで、多様な生きものや植物が確認できるようになり、生きもの観察講座の開催が活発になっています。

● 資源循環型社会の実現をめざすまち

できる限りごみを出さない、ものを捨てずに大切に使う生活が定着し、焼却処理や最終処分するごみの量が減っています。

まちの中ではポイ捨てによるごみが少なくなり、地域の区民と協働で取り組んでいる「クリーンキャンペーン」は、年々、回収量が減っています。

雨水利用の先進的自治体にふさわしく、貯めた雨水を打ち水や植木への水やりを使用する区民の姿が見慣れた風景になっています。

● 良好な生活環境が確保され、安心とやすらぎが実感できる住みよいまち

大気や河川、騒音、振動などに対する調査・監視・指導の継続により、環境基準を達成し、都市・生活型公害への苦情が減っています。

温室効果ガスの排出抑制に向けた取組に加えて、地球温暖化による影響への適応に向けた取組も進んでいます。

住宅やビルからの排熱抑制や多様な地域の緑化の取組により、ヒートアイランド対策が進み、まちかどクールスポットが公共施設のほかに、事業者の協力により区内の各所に設置され、健康で快適に夏が過ごせるまちになっています。

● 環境活動を実践する人が育つまち

区民や事業者が人情や風情にあふれたすみだを愛し、家庭や学校、職場など様々な場所・場面で、環境問題について正しい知識を学び、その解決に向けて積極的に行動しています。

江戸の昔から連綿と続く生活の場、働く場としてのすみだを、より豊かにして未来の子どもたちへ引き継ぐため、「環境の共創」の考え方のもと区民・事業者・区が協働してさまざまな環境保全活動に取り組む環境にやさしいまちになっています。

図3-2 本プランがめざす「すみだ」の将来像に基づく5つの基本目標



墨田区がめざす「スマートエネルギーのまち」とは？

経済産業省では、太陽光などの再生可能エネルギーを最大限活用し、家庭やビル、交通システム等をITネットワークでつなげ、地域でエネルギーを有効活用する次世代の社会システムの構築に向けた「スマートコミュニティ」に取り組んでいます。また、東京都では、気候変動対策に先導的に取り組むとともに、災害に備え、かつ、都市の魅力と知的生産性の向上を図ることで、低炭素、快適性、防災力の3つを同時に実現する「スマートエネルギー都市」に取り組んでいます。

墨田区では、これらの国や都の政策や方針を踏まえながら、省資源・省エネルギー型のライフスタイル、ビジネススタイルに加えて、太陽光発電などの創エネルギーや蓄エネルギーの導入など、無駄なエネルギーを消費しない「賢いエネルギーの使い方」が浸透している「スマートエネルギーのまち」をめざします。